第7講

人文科学系(7)

反知性主義

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

1　まず，知性とは何か。「知性」(intellect)は「知能」(intelligence)とどう違うか。ホフスタッターもこの二つを区別していろいろと説明しているが，いちばんわかりやすいのは，二つの言葉の使い道を見てみることである。「インテリジェント」なのは，人間とは限らない。「インテリジェントな動物」はいるし，「インテリジェントな機械」はある。しかし，「インテレクチュアル」な動物や機械は存在しない。「知能的な動物」はいるが，「知性的な動物」はいないのである。つまり，「知性」は人間だけがもつ能力である。

2　この歴然たる用語法の違いは，何を指し示すか。「知性」とは，単に何かを理解したり分析したりする能力ではなくて，それを自分に適用する「ふりかえり」の作業を含む，ということだろう。知性は，その能力を行使する行為者，つまり人間という人格や自我の存在を示唆する。知能が高くても知性が低い人はいる。それは，知的能力は高いがその能力が自分という存在のあり方へと振り向けられない人のことである。だから，犯罪者には「知能犯」はいるが「知性犯」はいないのである。

3　次に，そのような知性をもつのはどういう人か。「インテレクチュアル」は，形容詞でなく名詞として，ある種の人びとを指すこともある。日本語でいう「知識人」のことである。これも，単に「知能の高い人」というより，その知が人間性全体に働いて影響を及ぼしている人のことを指すだろう。

4　このような意味での「知識人」という言葉の使い方は，実は案外新しい。「インテリゲンチア」という言葉がロシア語系の由来であることからもわかるように，それは社会の改

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

良や革命に関心をもつ左翼知識人を指す言葉として登場した。『オックスフォード英語辞典』最新版によると，今日「インテリ」と略して使われるこの用法は，一九世紀末フランスで起きたドレフュス事件に際して被告擁護の論陣を張った文化人らに由来しており，しばしばエリート主義への揶揄を伴っている。

5　ただし，知識人はしばしば，みずからそのような権力や制度の一部となる。だから，知識人として生きることには，どうしてもある種の矛盾が伴う。彼らは，自分自身は階級的なエリートでありながら，民土的な大義を信じている。一方では民主制社会の善を信じていながら，他方でそれが結果する文化の大衆化や卑俗化を嫌う。自分が大衆を教育し啓蒙する立場にあることを自覚してはいるが，あまりそれが進みすぎると，自分たちとの差がなくなってしまうことを危惧しなければならない。赤くなったり青くなったり，サディストになったりマゾヒストになったり，何ともはや複雑な人種である。いずれにしても，「知性をもった人」「知識人」「インテリ」というのは，自分自身の考え方や主義主張や立ち位置に対して，何かと自覚的にならざるを得ない人のことである。

6　ということは，「反知性」の意味も，単に知の働き一般に対する反感や蔑視ではない，ということである。それは，最近の大学生が本を読まなくなったとか，テレビが下劣なお笑い番組ばかりであるとか，政治家たちに知性が見られないとか，そういうことではない。知性が欠如しているのでなく，知性の「ふりかえり」が欠如しているのである。知性が知らぬ間に越権行為を働いていないか。自分の権威を不当に拡大使用していないか。そのことを敏感にチェックしようとするのが反知性主義である。もっとも，知性にはそもそもこのような自己反省力が伴っているはずであるから，そうでない知性は知性ではなく，したがってやはり知性が欠如しているのだ，という議論もできる。どちらにせよ，反知性主義とは，知性のあるなしというより，その働き方を問うものである。

7　知性が大学や研究所といった本来あるべきところに集積され，それが本来果たすべき機能に専念していると見なされる場合には，反知性主義はさして頭をもたげない。しかし，ひとたびそれらの機関やその構成員が政治権力にお墨付きを与える存在とみなされるようになったり，専門以外の領域でも権威として振る舞うようになったりすると，強い反感を呼び起こす。つまり反知性主義は，知性と権力の固

生徒メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

定的な結びつきに対する反感である。知的な特権階級が存在することに対する反感である。微妙な違いではあるが，ハーバード・イェール・プリンストンへの反感ではなく，「ハーバード主義・イェール主義・プリンストン主義」への反感である。特定大学そのものへの反感ではなく，『ハーバード主義・イェール主義・プリンストン主義』への反感である。特定大学そのものへの反感ではなく，その出身者が固定的に国家などの権力構造を左右する立場にあり続けることに対する反感である。

8　では，そのような反知性主義が，なぜアメリカのキリスト教を背景にして生まれ，先鋭化していったのか。

9　しばしば言われるように，アメリカは中世なき近代であり，宗教改革なきプロテスタンティズムであり，王や貴族の時代を飛び越えていきなり共和制になった国である。こうした伝統的な権威構造が欠落した社会では，知識人の果たす役割も突出していたに違いない。それが本稿で辿ったアメリカの歴史であるが，反知性主義はそれと同時に生まれた双子の片割れのような存在である。双子は，相手の振る舞いを常にチェックしながら成長する。他の国で知識人が果たしてきた役割を，アメリカではこの反知性主義が果たしてきた，ということだろう。

10　本稿は最初から最後まで，キリスト教がアメリカにおいて土着化ないし文脈化したこと，そしてその結果が宗教と道徳の単純なまでの同一視であること，の二点を強調してきた。ダニエル・ベルという政治哲学者によると，アメリカ史には「政治における妥協性」と「道徳における極端性」が共存している。アメリカは，一方では欲望全開で何でもありのフロンティア社会であり，かつ同時に禁欲的で厳格な法律をもったお上品の国である。都会には売春と飲酒と賭博が蔓延する一方で，プロテスタント的・中流階級的な倫理観は他のどの国よりも強い。だからアメリカでは，敬虔が道徳主義に道を譲り，神学が倫理学に従うのである。その結果，妥協を旨とするはずの政治が道徳の極端性を帯び，政治が道徳化してしまった。宗教の道徳化も，これと同じプロセスの産物である。

11　もうひとつ忘れてはならないのが，平等という理念である。一九五〇年代にマッカーシーが極端で理不尽な知識人攻撃を繰り返していた時ですら，人びとは彼の反知性主義にある種の正当性を感じていたという。それは，そこにいかにもアメリカ的で明快な大義名分，すなわち民主的平等を

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

求める熱情が含まれているからである。

⑫ このようなラディカルな平等主義を支えているのは，エスタブリッシュメントに対する宗教的な異議申し立ての権利である。この権利は，信仰復興運動によって一般大衆一人一人の手にあることが確認された。反知性主義は，どんな学問のどんな権威も「ぶっとばす」ことができる。その拠り所を提供しているのが，宗教的に基礎づけられたラディカルな平等意識である。

⑬ リバイバリズム(注1)は，ピューリタニズムの極端な知性主義への反動として生まれ，独立期には信教の自由を求める政治家と宗教家との連合を作り出した。そしてジャクソニアン・デモクラシー(注2)とアメリカの自然志向を背景に，ビジネス的な実利精神と融合してキリスト教を大衆化し，フィニーやムーディやサンデーといったヒーローたちを輩出した。反知性主義は，その後も現代に至るまでアメリカに固有の現象として定着し，知性の越権行為が疑われるところでは敏感にそれを察知して批判力を発揮する。

⑭ 反知性主義がなぜアメリカで力をもつのか。それは，アメリカがあくまでも民主的で平等な社会を求めるからである。ローレン・バーリッツは，ホフスタッターとほぼ同時期の著作で，学界と産業界との産学協同，シンクタンクや政権アドヴァイザーなどに対する強い懸念を示している。学者が大企業や政権から資金を得て研究を進め，原子力政策やその安全性に関する世論操作に加担し，消費者運動や反公害運動を抑制する役割を果たすなら，それらに批判の目を向けるのは，ある面では健康なことだろう。ここに，反知性主義の正当な存在意義がある。

⑮ ビリー・サンデーの生きた時代には，教会にも社会階層に従って席の上下があった。野球場ですら，上等なボックス席と雨ざらしの外野席があった。しかしリバイバル集会では，テントの中の同じ簡素なベンチに，大銀行の頭取とすすけた炭坑夫とが隣り合わせで座る。この平等意識がアメリカ人を芯からしびれさせるのである。リバイバリズムは，野卑だが民主的で，力ある者に向かっても怯むことなく顔を上げることのできる根拠を人びとに提供した。マッカーシーは，同じ手法で「神」の代わりに「反共アメリカニズム」を据えたにすぎない。彼もまた，戦闘的な平等主義をもって時の権力者に刃を向けた人物である。彼自身が反知性主義の自己反省力をもっていたようには見えないが，少なくとも彼にエールを送ったのは，時代の反知性主義であった。

生徒メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

⑯　キリスト教世界の中でアメリカだけに強く見られる反進化論の風潮も，単なる「宗教」対「科学」という構図だけでは理解できない。ノールという研究者が『神と人種―アメリカ政治を動かすもの』という最近著で明らかにしているように，彼らの反対は，進化論という科学そのものに向けられているのではなく，そのような科学を政府という権力が一般家庭に押しつけてくることに向けられているからである。これは，本稿で見た大きな政府に対するセクト主義的(注3)な警戒心の表出に他ならない。ここに言う「政府」とは連邦政府のことであり，それに反対する人びととは主に南部諸州を中心とした「バイブル・ベルト」の地域にいる人びとである。彼らは，自分の子どもたちに何を教えるべきか，ということで連邦政府から指令を受けるのを好まない。つまり，家庭における価値観や教育というプライベートな部分に連邦の権力が踏み込んでくることに対して，怒りに満ちた異議を表明しているのである。ムーディやサンデーの時代とは異なり，今日の反対は，科学そのものよりも，科学が権力と結びついていることに向けられている。反知性主義は，ここにも表現されている。少なくともその攻撃性は，「反科学」というより「反権力」に由来すると理解した方がよい。

⑰　近年のアメリカでは，政府の役割を最小限にし，個人の自由を尊重する「リバタリアニズム」が若者たちの間に大きな広がりを見せているという。彼らの目指すところは，民主党と共和党という二大政党のシステムではもはや吸収しきれない。「小さな政府」は伝統的には共和党の掲げる理念だが，同性婚や大麻の合法化といった主張は共和党の価値観とは相容れないからである。こうした若者たちの動向は，やがて大統領選挙にも影響を及ぼすだろうが，これは政策綱領うんぬんの話であるよりは，ただ「ほっといてくれ」と言っているだけのようにも見える。本稿が辿ってきた歴史の経緯からすると，これもアメリカという国家の奥深くに宿る「セクト主義」魂の表出と捉えることができる。

森本あんり『反知性主義―アメリカが生んだ「熱病」の正体―』(新潮選書，二〇一五年)より。なお出題の都合により小見出し，原典の注記を省略し，文章の一部に変更を加えた。

注1　信仰の復興を主眼とする宣教活動の一形態を指す。
注2　アメリカ合衆国第七代大統領ジャクソンの民主的業績を評価し，彼の時代の改革運動を総括する概念である。

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

注3　一般的に「セクト主義」とは，ある社会集団の内部における各セクションが自らの利得や権限を主張して互いに争い，協調・協力できない状況を指す。しかし，とくにアメリカにおける「セクト主義」とは，共通の感情や利害によって結びついた複数の州からなる地域（セクション）が連邦政府による統一的な政策に対して非協力的な態度をとることをいう。

（2021年度　九州大学　文学部　後期）

生徒メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

反知性主義とは何かを簡単にまとめた上で，反知性主義なるものがアメリカに限って見られる現象なのかどうか，あなた自身の考えを論じなさい。（1600字以内）

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

500

600

700

800

900

1000

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（　　　　　字）

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター3

答案例①

　知識や理解や分析といった知的能力を自らに適用し、自己存在の在り方について振り返る姿勢を持つ知性主義に対し、知性が越権行為を働いていないかを見るのが反知性主義である。課題文では反知性主義を「知性と権力の固定的な結びつきに対する反感」と定義づけている。アメリカで生まれ、先鋭化されたという歴史を持つが、そのことは王や貴族という伝統的な権威構造がないまま共和制として建国されたために、知識人の持つ役割が突出していたためだと考えられている。他国で権威に対して知識人が果たしてきた役割を、アメリカでは知識人に対して反知性主義が担ってきた。建国そのものが神の下の平等を説くキリスト教に由来するために、ラディカルな平等意識に基づいて民主的で平等な社会が求められてきたことがアメリカで反知性主義が力を持つ原因となっているという。

　反知性主義が権威権力の知性を批判的に眼差す対抗する知性であるならば、理論上は国を問わず成立でき、成立することで独裁的な政治の否定が可能になるため、民主主義国家として必要な機能であろう。民衆主義国家だが、アメリカとは異なる成り立ち方をしている日本では、成立しているのだろうか。

　アメリカは課題文に「中世なき近代」と書かれているように、歴史の中で徐々に成長や変化を遂げてきた国ではなく、建国時にすでに成熟している国として誕生した。建国者たちは先住民であるアメリカインディアンを迫

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

害し、土地を奪って支配地を広げていったが、そのことも神が人間に地を統べ、魚や鳥やすべての動物を支配せよと説くキリスト教に由来しているだろう。すなわち、造物主である神、その姿に似せて作られた人間、人間が治めるべき自然や他の動物たちというヒエラルキーが歴然と存在しているのだ。このような基礎的な考え方があるからこそ、他に選択肢を持たない中、アメリカの反知性主義は本来自分と同等の価値を持ちながら、権威権力と結び付くことで影響力を肥大化させる知性を批判する立場として成立しているのだろう。

　日本はどうであろうか。国生み神話に建国の由来を持つ日本には八百万の神々がいるが、人間の誕生は明確には書かれておらず、いつのまにか「在る」ものとして存在している。アニミズム的自然崇拝や多神教の神道、仏教の影響が混じり合い、人間存在が長い歴史の中で緩やかに定まってくる。中国仏教で生まれた植物も成仏するという考えは、日本ではさらに発展し、岡田真美子の調査によると9世紀後半には「草木国土悉皆成仏」という語が文献に見られるという。一神教が主である国々の考え方と比較すると、明らかに人間とそれ以外の差がないといえるだろう。つまり、日本では自然とは人間が統べるものではなく、自身がその一部なのだ。

　自然と同等である日本人は、自然災害に対しても従順である。避難所で暴徒化する人や火事場泥棒が少ないことは大規模災害時に海外から驚嘆されるが、地震大国として倒壊と再建を繰り返してきた中で、自然には敵わないという共通認識が生まれ、ある種の諦念とともに境遇を受け入れるのだろう。中村元の

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「与えられた現実の容認」である。これこそが日本人の感じ方考え方の根を示すのではないかと考えられる。つまり、いつのまにか四季が移り自然が変化するように、人間の姿や考え、権力も時と共に変化していくと考えられているのではないだろうか。ゆえに「成り行きに任せる」や「長い物には巻かれよ」という言い回しが生まれ、主体性の関与しない変化や決定の在り様が肯定されていく。万物の流転と盛者必衰の理を内在する日本人にとっては権威権力に結び付く知性も、それらに反発する反知性も一時的な役割のようなものであり、絶対的な「対立」にはならないと考えられよう。したがって、日本には既存の権力を打ち負かすほどの反知性主義は成立しえないのではないだろうか。

(1592字)

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター4

答案例②

　筆者は本文の中で、「反知性主義」とは知性を持ったエリートが権力と結びつく「知性主義」への反感、つまり知的な特権階級が存在することに対する反発だと述べている。プロテスタンティズムが土着化しているアメリカでは、エスタブリッシュメントに対する宗教的な異議申し立ての権利を万人が有しているとされており、それがラディカルな平等主義を支えている。民主的で平等な社会を求めるアメリカの姿勢が反知性主義を先鋭化させた、と筆者は主張している。

　私は、反知性主義はアメリカ以外でも見られる現象だと考える。知性を持つエリートが特権を持つことに対する批判は、間々行われることだからである。日本に限っても、東日本大震災の原発事故時における官僚批判、コロナウイルス流行時における日本医師会批判など、枚挙に暇がない。大学生にとっては、大企業が特定の有名大学出身学生しか採用していないのではないかなどという噂混じりの批判が、最も興味のあるトピックスではないだろうか。いずれにせよ、上記の例は特定の知的な職業・階級にいる者や、特定大学の出身者が、固定的に国家などの権力構造を左右する立場にあり続けることに対する反感の表われである。

　一方で、その反知性主義は、アメリカほど先鋭化されているのだろうかという疑問が残る。筆者は、反知性主義がアメリカで力を持つ理由を「ラディカルな平等主義」が根底に

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

あるからだと述べている。それはキリスト教から来る「神の前では、立場や階級など関係なく、みんな平等である」という考えに基づいているが、アメリカのように政治と宗教が切り離されて捉えられており、かつ大多数の人々が宗教の信仰を有している社会状況は、どの国にも当てはまるわけではないだろう。例えば、日本においてキリスト教やイエス・キリストと並べて論ずることのできる対象は仏教や釈迦となるが、日本人の仏教信仰とアメリカ人のキリスト教信仰は様相が異なる。仏教の教えやそれに関連する風習は知っていても、固い信仰にまで至っているケースは少なく、仏教への信仰が自身の信念や行動原理に繋がっていることはあまりないと考えられる。日本人の根底の考え方は、神ではない人間が作った旧態の仕組みや権威の中で序列を付けることとなり、そこに神のような絶対的な存在の視点は反映されないため、アメリカ的視点から見れば、中途半端な反知性主義と言えるのかもしれない。

　社会に暮らす人々は、さまざまな年齢・性別・人種・民族・生まれなどを有しているにも関わらず、その中の一部の知的なエリートが特権を有しているとすれば、そのことに反感を持つ反知性主義の発生はごく自然な流れだと考えられる。大切なのは、反知性主義からくる自分自身の怒りや反感に対して卑屈にならないことだ。「官僚や政治家に腹が立っているが、どうせ自分は彼らより劣っているから、仕方ない」「この大学の学生ばかり優遇されるのは納得いかないが、自分とは頭の出来が違う優秀な学生なのだろうから、仕方ない」という卑屈な感情を目にすることがあ

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

るが、それは前述した「人間が作った旧態の仕組みや権威の中で序列を付けている」ことにほかならない。二科四科が重視される旧態の受験勉強社会で成功・獲得した能力は、技術や人間の意識の革新が起こり続けている今の社会においては、あくまでも一つのスキルにすぎないだろう。私たちが社会の構成員である以上、私たちの能力や経験は等しく尊重されるべきものであるという理解に立ち、自信を持つことが必要だ。基礎的教養と論理的思考力をもって世の中の旧態依然とした事柄を疑い、おかしいと思われる事柄には毅然と反論し、自己反省力をもって振り返るという姿勢が、日本人である私たちがとるべき反知性主義に基づいた行動なのではないだろうか。

(1580字)

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするための
おすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。